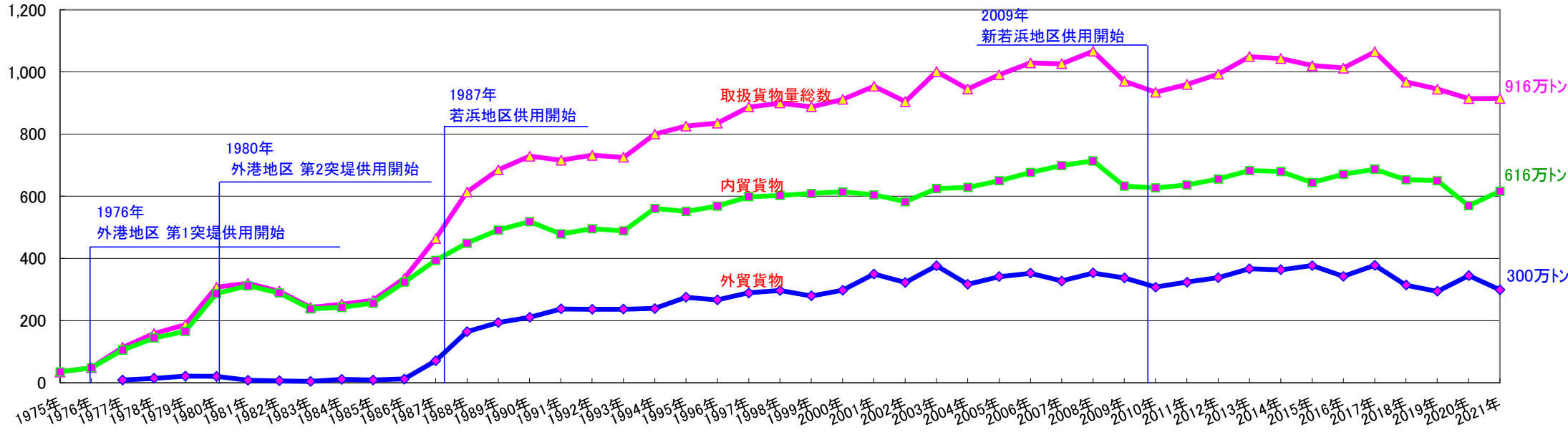


# 志布志港の総取扱貨物量

○志布志港の総取扱貨物量(916万トン、2021年)の内、約5割はフェリー貨物(主に大阪へ肉類、紙製品、農作物等を移出)。フェリーを除く貨物の内、約7割が飼料関係貨物。

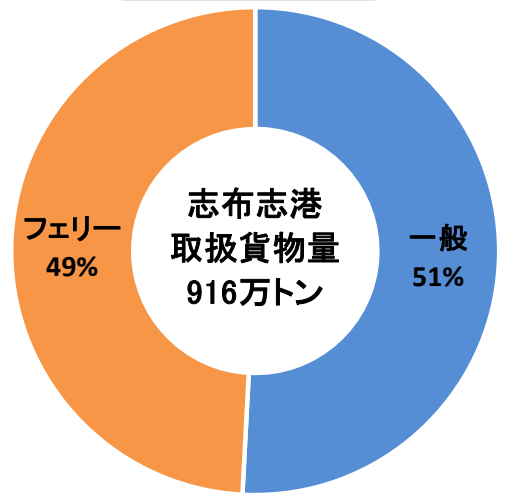
### 取扱貨物量の推移



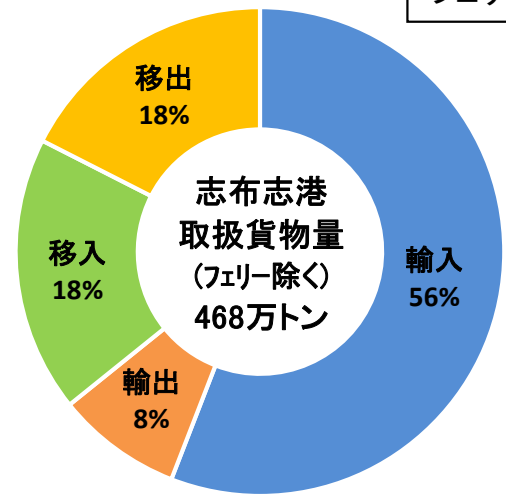
### 貨物の内訳(2021年確定値)

(出典) 港湾統計を基に志布志港湾事務所作成

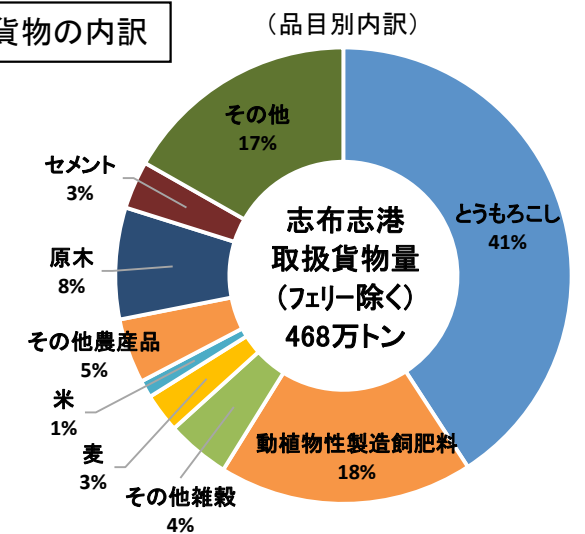
#### 総取扱貨物量



#### (輸移出入別内訳)



#### フェリーを除く取扱貨物の内訳

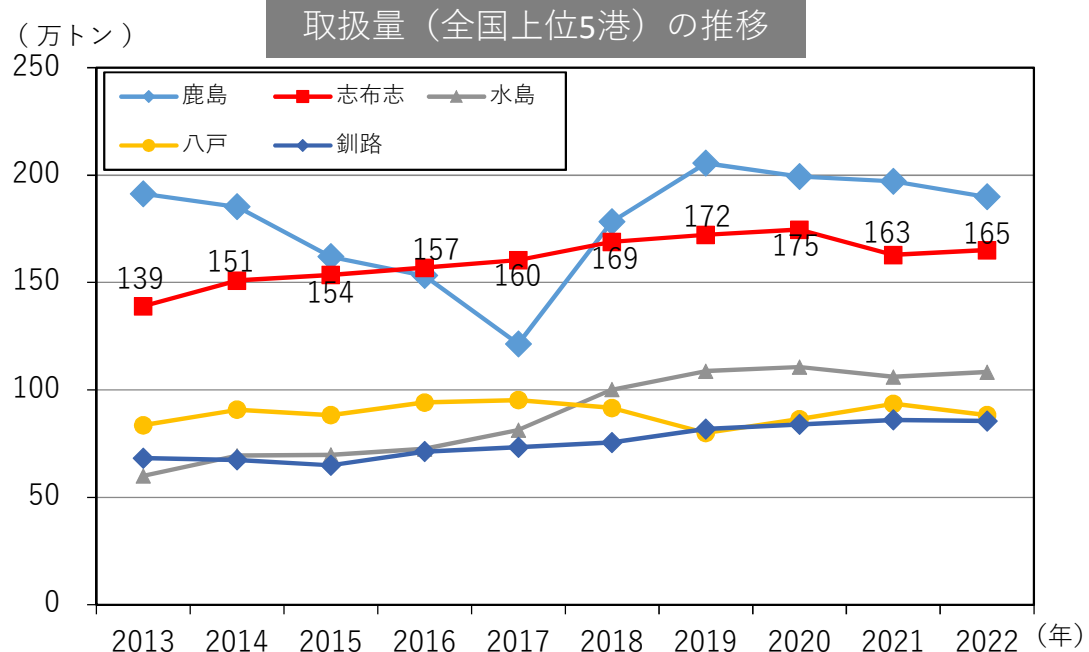


# 畜産を支える飼料供給基地

- 牛豚鶏（肉用種）の飼養割合は、鹿児島県と宮崎県が全国でも上位を占めており、日本全体の約3割を占めています。
- 畜産にとって家畜の餌となる飼料の安定供給は重要ですが、とうもろこし、こうりゃん、大豆、大麦など、飼料の原料となる穀物はほとんど輸入に頼っているのが現状です。
- 志布志港の取扱貨物量（フェリーを除く）のうち、飼料穀物の輸入は約7割を占め、南九州地域を基幹産業である畜産を支えています。

飼料用とうもろこし輸入量ランキング（2022年）

| ランキング |    | 都道府県名 | 税関名 | 輸入量<br>(万トン) | 全国<br>シェア |
|-------|----|-------|-----|--------------|-----------|
| 全国    | 九州 |       |     |              |           |
| 1     | -  | 茨城県   | 鹿島  | 189.9        | 16.9%     |
| 2     | 1  | 鹿児島県  | 志布志 | 165.1        | 14.7%     |
| 3     | -  | 岡山県   | 水島  | 108.3        | 9.7%      |
| 4     | -  | 青森県   | 八戸  | 88.3         | 7.9%      |
| 5     | -  | 北海道   | 釧路  | 85.5         | 7.6%      |
| 6     | -  | 愛知県   | 名古屋 | 71.5         | 6.4%      |
| 7     | -  | 北海道   | 苫小牧 | 65.2         | 5.8%      |
| 8     | 2  | 鹿児島県  | 鹿児島 | 64.6         | 5.8%      |
| 9     | 3  | 熊本県   | 八代  | 39.5         | 3.5%      |
| 10    | -  | 宮城県   | 石巻  | 38.3         | 3.4%      |
| 全国計   |    |       |     | 1,120.5      | -         |
| 九州計   |    |       |     | 310.2        | 27.7%     |



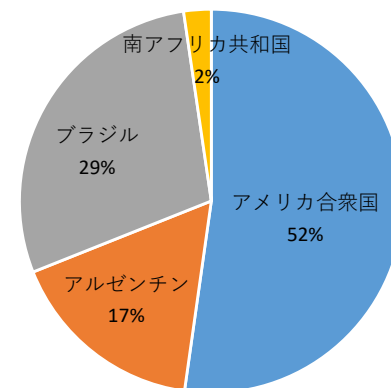
2022年の飼料用とうもろこし輸入

## 主な取扱港

「単位：トン」



## 輸入元割合【志布志港】



グラフ中の ( ) 書きは取扱量順位  
(出典) 貿易統計(2022) 概況品コード0090701

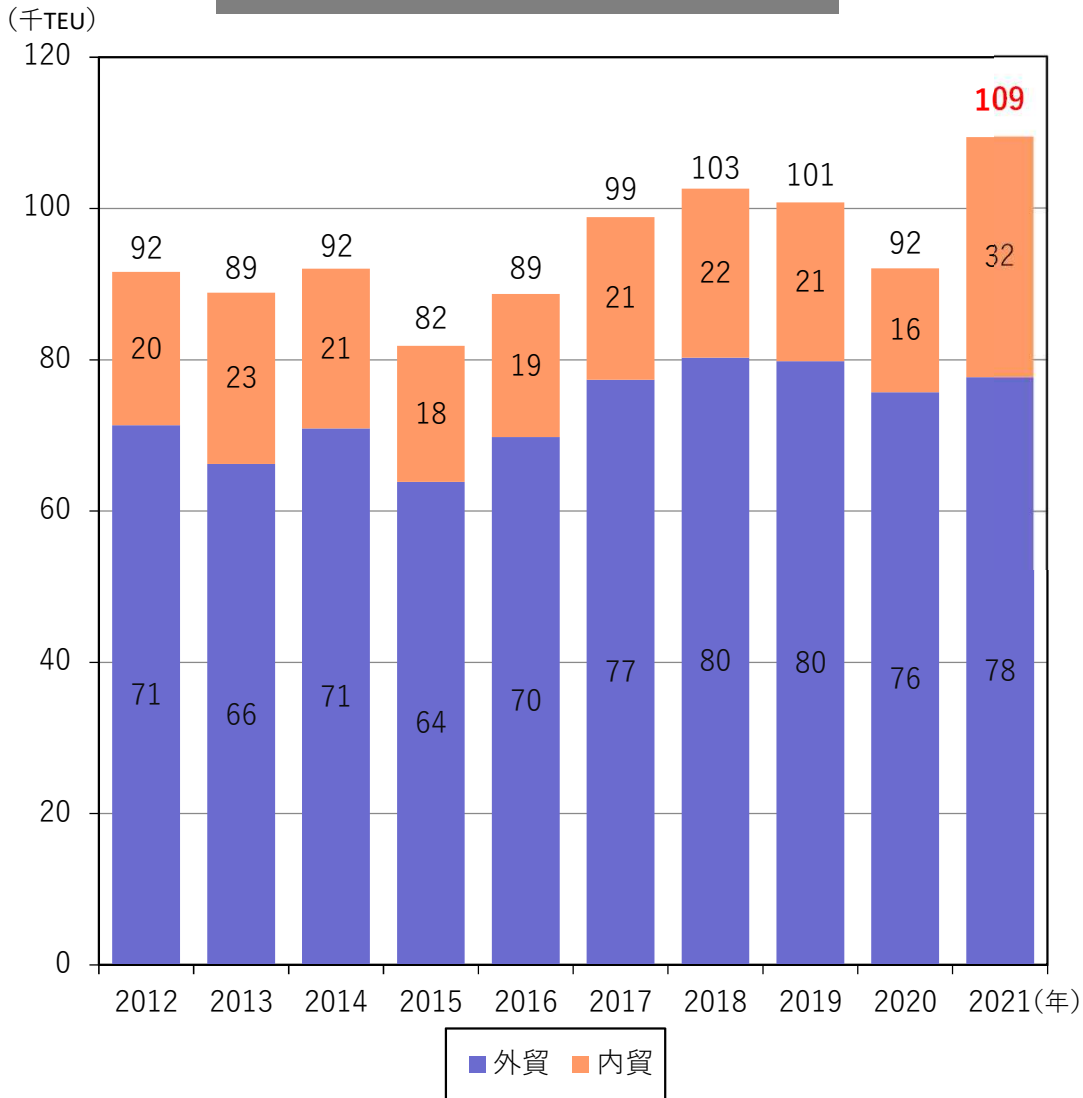
# 志布志港のコンテナ貨物取扱量

○志布志港には、中国、韓国、台湾などアジア各国とを結ぶ国際コンテナ定期航路が就航しており、コンテナ貨物の総取扱量は約10.9万TEU（2021確定値）となっています。

○新若浜地区コンテナターミナル（2009年3月供用）は、コンテナ貨物量の増大に対応するため、5万DWT級の貨物船が接岸可能な水深14mの岸壁を有しており、年間コンテナ蔵置能力は12万TEUとなっています。

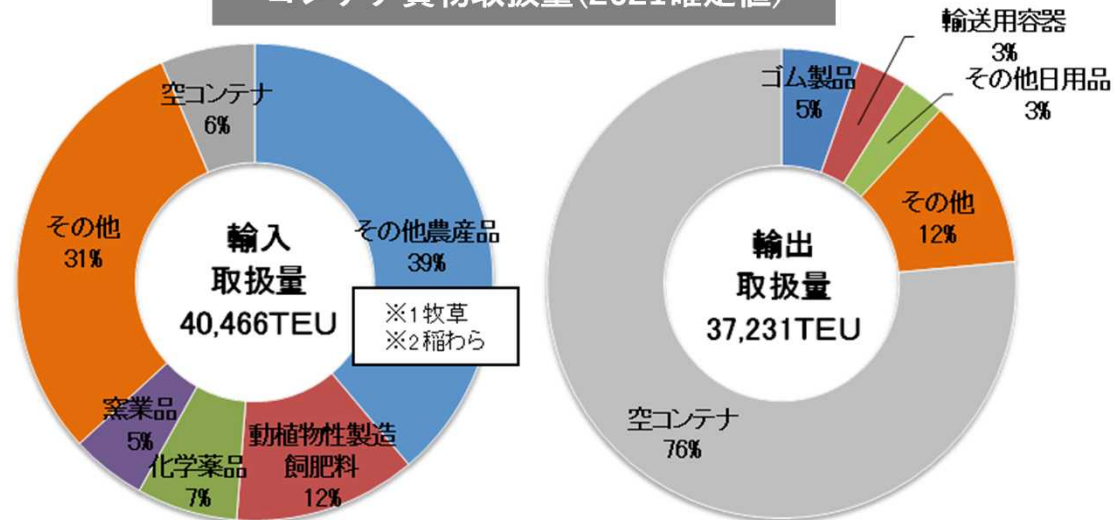
○コンテナ貨物品の内訳としては、その他農産品（牧草・稲わらの輸入）、ゴム製品（タイヤ等の輸出）。輸入品の約半分が飼料関係です。

コンテナ貨物取扱量の推移



(出典) 港湾統計(年報) データ  
 ※端数処理により合計値が一致しない場合がある。

コンテナ貨物取扱量(2021確定値)



※1 輸入の牧草は、アメリカ・オーストラリアより。  
 ※2 輸入の稲わらは、中国より。(大連に大規模な燻蒸施設がある)  
 (出典) 港湾管理者からの情報をもとに志布志港湾事務所作成



# フェリー・RORO航路の就航状況

- 外港地区には、「東京・大阪・沖縄方面へのRORO航路」（マルエーフェリー）が就航し、若浜地区には「大阪方面へのフェリー航路」（さんふらわあ）が就航。
- マルエーフェリーは東京・沖縄方面へRORO航路を週3便、大阪・沖縄方面へRORO航路を週4便就航。さんふらわあは大阪方面へフェリーを日1便就航。



外港地区  
「マルエーフェリー」

総トン数：13,631T 積載能力：トレーラー187台 乗用車 204台

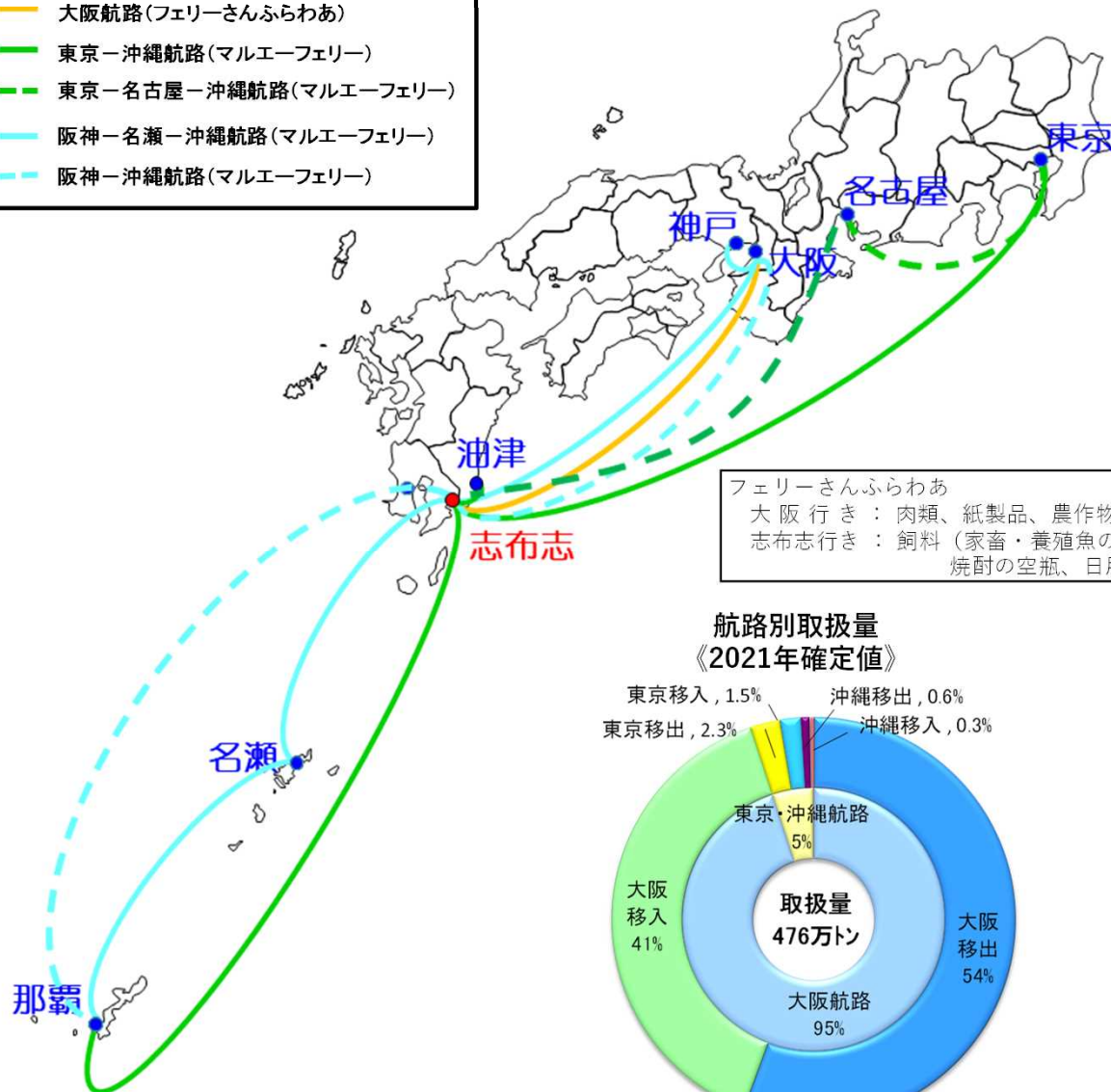


若浜地区  
「さんふらわあ」

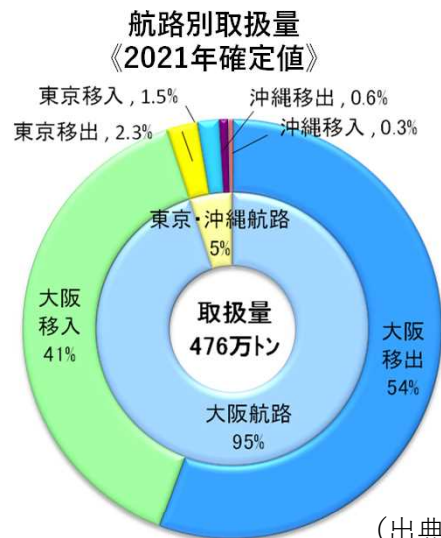
総トン数：13,659GT 積載能力：トラックトレーラー 121台  
乗用車 134台 旅客定員数：709名

新造船第1船：2018年5月15日就航  
新造船第2船：2018年9月15日就航

- 大阪航路(フェリーさんふらわあ)
- 東京-沖縄航路(マルエーフェリー)
- - 東京-名古屋-沖縄航路(マルエーフェリー)
- - 阪神-名瀬-沖縄航路(マルエーフェリー)
- - 阪神-沖縄航路(マルエーフェリー)



フェリーさんふらわあ  
大阪行き：肉類、紙製品、農作物、タイヤ等  
志布志行き：飼料（家畜・養殖魚の餌）、  
焼酎の空瓶、日用品



(出典) 港湾統計

# 全国屈指の木材輸出拠点

○中国、台湾、韓国における2013年以降の木材需要の増加を受けて、志布志港における木材輸出量は大幅に増加し、2010年以降、取扱数量・輸出額ともに13年連続全国1位。全国シェアの約3割を占めるまでに成長しています。

○鹿児島県（曾於地区森林組合、曾於市森林組合）と宮崎県（都城森林組合、南那珂森林組合）は県境を越えて「宮崎・鹿児島木材輸出戦略協議会」を設立し、木材の海外輸出促進に取り組んでいます。

木材輸出量ランキング（2022年）

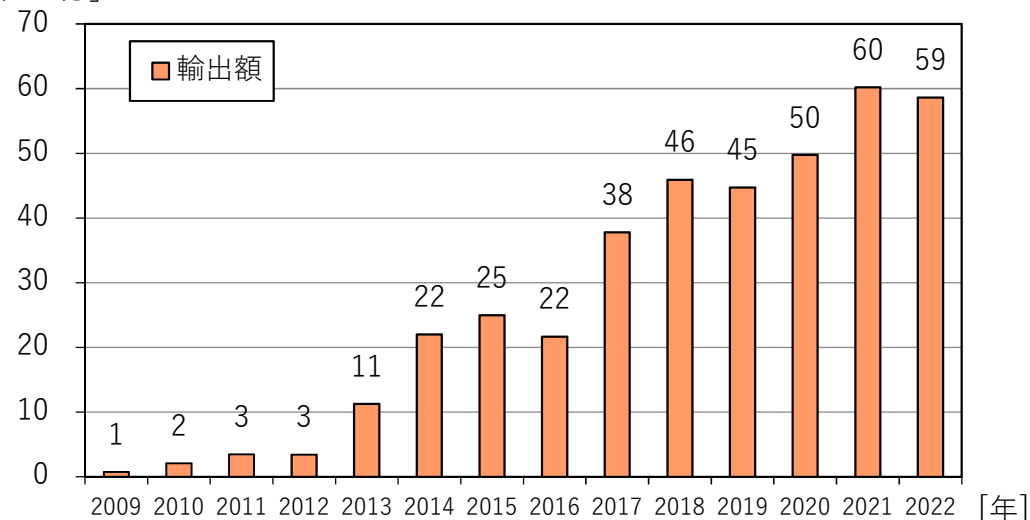
| ランキング |    | 都道府県名 | 税関名  | 輸出量<br>(万㎡) | 全国<br>シェア |
|-------|----|-------|------|-------------|-----------|
| 全国    | 九州 |       |      |             |           |
| 1     | 1  | 鹿児島県  | 志布志  | 40.0        | 30.3%     |
| 2     | 2  | 熊本県   | 八代   | 15.8        | 11.9%     |
| 3     | 3  | 鹿児島県  | 川内   | 13.6        | 10.3%     |
| 4     | 4  | 宮崎県   | 細島   | 10.2        | 7.7%      |
| 5     | 5  | 大分県   | 大分   | 9.0         | 6.8%      |
| 6     | 6  | 大分県   | 佐伯   | 7.0         | 5.3%      |
| 7     | 7  | 宮崎県   | 油津   | 5.9         | 4.5%      |
| 8     | -  | 秋田県   | 秋田船川 | 5.1         | 3.9%      |
| 9     | -  | 北海道   | 函館   | 4.6         | 3.5%      |
| 10    | 8  | 宮崎県   | 宮崎空港 | 3.4         | 2.6%      |
|       |    | 全国計   |      | 132.1       | -         |
|       |    | 九州計   |      | 112.40      | 84.8%     |

(出典) 貿易統計 品目コード440321~440326



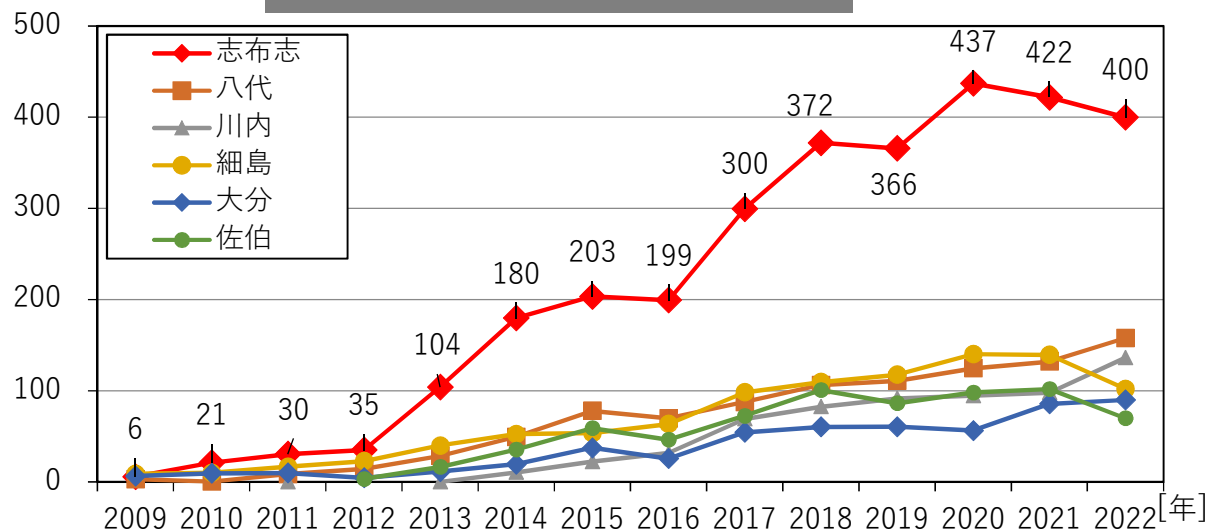
輸出額  
[単位：億]

輸出額（志布志港）の推移



取扱数量  
[単位：千m³]

取扱数量（九州上位6港）の推移



(出典) 貿易統計 品目コード440321~440326